

# 記入例

学校電話番号	学校担当者氏名	推薦状整理番号
この欄は学校担当者が記入します。		

## 高等学校奨学金奨学生願書

\* 太枠内を記入してください。

神奈川県教育委員会教育長 様		願書記入日	2026年 4 月 7 日							
<p>この貸付月額で貸付けを受けたいので願い出ます。                  貸付を受けた上は、私（奨学生本人）の教育費に使い、卒業（退学）後は、                  返還を誓約します。また、教育費以外に使った場合は借用した奨学金                  として返還します。</p>										
応募者、保護者 それぞれが自筆 で署名してくだ さい。		姓	カナガワ	名	タロウ					
		姓	神奈川	名	太郎					
生年月日	2011 年 4 月 10 日生									
本人住所	〒 231 - 8588 横浜市中区日本大通1									
電話番号	(自宅 ☎) 045 - 210 - 8251		(携帯 ☎) 090-0000-0000							
フリガナ	姓 カナガワ	名 カズオ	本人との続柄							
保護者氏名	姓 神奈川	名 和夫	父							
保護者住所	(本人と異なる場合のみ記入) 〒 -									
電話番号	(自宅 ☎) -									
在籍校	県立〇〇		年	卒業見込年月						
	[ 全日制 ・ 定時制 通信制 ]		第 2 学年	2028年 3月						
奨学生番号	2	0	2	6	-	9	9	9	前年度以前に神奈川県奨学金の貸付けを受けた場合に記入してください。	
奨学金の貸与を希望する理由（必ず奨学生本人が自筆で具体的に記入してください）										
私は将来教師になりたいという夢がありますが、私の家庭は3人兄弟で生活費や学費の負担が大きく、これ以上両親に経済的負担を求めることができません。 そのため、奨学金の使い道は希望する大学に合格するための参考書や模擬試験の費用に充てたいと考えています。										
選択必須	貸付月額について、次の表 ※ ○がない場合は確認が									
貸付月額	新入生	国公立	1	2	3	万円				
		私立	1	2	3	4	5			
	新入生以外	国公立	①	2	※【新入生以外】貸付月額に1万円を加算した額で貸付を希望する				3	万円
		私立	1	2	3	4				

神奈川県奨学金を借りたことがある場合は、必ず記入してください。

奨学金は教育にかかる費用に充てるために貸付けを行っています。なぜ、奨学金を必要とし、何に使うのか、理由を簡潔に記入してください。

※ 新入生以外の方で、貸付月額に1万円を加算した額で貸付けを希望する方は、別途

希望する貸付月額を○で囲んでください(1つ)。

新入生以外で、この欄の金額を選択する場合は、加算申請理由書の提出が必要で

同 一 生 計 者	続柄	氏名	年齢	職業 (学年)	勤務先(学校名)
	本人	表面記載のとおり			
	父	神奈川 和夫	50	会社員	〇〇〇〇
	母	神奈川 花子	45	パート	△△△△
	姉	神奈川 百合	20	3年	□□大学
	弟	神奈川 次郎	13	2年	××中学校
	祖父	神奈川 寅雄	75		無職(年金収入)

○ 同一生計者の欄は、本人を含め、生計を一にする方全員について記入してください。  
 ※ 生計を一にする方とは、同居・別居にかかわらず本人と生活費を同じくしている人です。例えば、単身赴任者や仕送りのある親族等を含みます。  
 ※ 別居独立している兄弟等は記入しないでください。  
 ○ 就学者については、具体的な学校名、学年を記入してください。  
 ※ 年齢は、申込日現在で記入してください。

添付書類	内容	提出場所
保護者全員の所得に関する証明書類(右のいずれか)	①市町村民税・県民税特別徴収税額通知書(コピー) ②市町村民税・県民税税額決定・納税通知書(コピー) ③市町村民税・県民税課税(非課税)証明書(コピー可) ④生活保護受給証明書(原本) ※確定申告書や給与所得の源泉徴収票では受付できません	①は勤務先 ②③④は市(区)役所 町村役場
奨学金振込口座申出書(第10号様式)	①本人と保護者が自署する箇所は必ず記入してください ②通帳等のコピーと記載内容が同一か確認してください ※記載に不備がある場合、貸付が遅れることがあります	各ご家庭(様式は県HPから)
通帳のコピー	・金融機関の名称、支店名、口座番号及び口座名義人の「カナ」がわかる部分のコピー (通帳レス口座に限り、キャッシュカードのコピーも可)	各ご家庭

以下の項目は、該当する場合のみ記載をしてください。

随時採用(5月以降)に申し込む場合は、希望の貸付開始月に○をしてください。

貸付開始月	<input checked="" type="radio"/> 4月分から	<input type="radio"/> 申込月分から
-------	--	------------------------------

・ 随時採用(5月以降)に申し込む場合は「4月分から」または「申込月分から」のどちらかに○をしてください。

随時採用に申し込む場合は「4月分から」または「申込月分から」のどちらかに○をしてください。

※ 教育委員会使用欄(記入しないでください。)

保護者等1所得割	保護者等2所得割	所得割の計	生活保護受給
----------	----------	-------	--------

高等学校奨学金加算申請理由書

**記入例**

令和8年4月7日

この理由書は、貸付月額に1万円を加算することを希望する場合のみ作成します。

<b>神奈川 太郎</b>
<b>県立〇〇高等学校</b>

高等学校奨学金加算申請理由書は、貸付月額に1万円を加算することを希望する場合のみ作成します。募集案内をよく読んで、4つの中から区分を1つだけ選んで、○をつけてください。

※「国家資格等の取得目標」を選択した場合は、その国家資格等の名称も記入してください。

※ いずれか1つを○をつけてください。	※ 国家資格等の取得目標を選択した場合は、その国家資格等の名称も記入してください。		
成績	学習活動・特別活動等	出席状況	国家資格等の取得目標
			○
国家資格等の名称	<b>英語検定2級</b>		
加算を必要とする理由	高等学校奨学金奨学生願書に記載のとおり		

次のことについて、本人が自筆で記入してください

(成績、学習活動・特別活動等又は出席状況を加算申請事由とする場合)

(資格取得目標を加算申請事由とする場合)

前年度中に、成績、学習活動・特別活動等、出席状況のいずれかを加算申請事由とする場合は、こちら側に記入します。それぞれの理由に応じて、前年度中に頑張ったことを記入してください。

(例)

- <成績> 学習への取組み
- <学習活動・特別活動等> 部活動や委員会活動など、学校での取組み
- <出席状況>

この年度中に、国家資格等の取得を目標とすることを加算申請事由とする場合は、こちら側に記入します。その国家資格等を取得しようと思う理由、その国家資格等を今後どのように役立てていくのか、具体的に記入してください。また、国家資格等を取得するための取組みについても記入してください。